

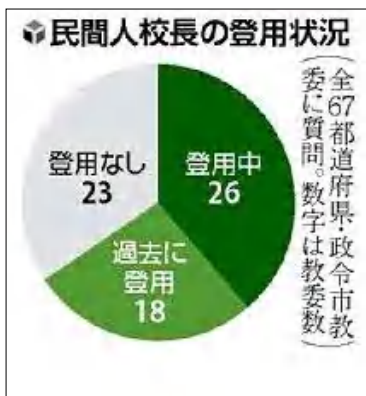
とよなか

子ども達の豊か
な成長・発達の
ために皆で力を
合わせましょう！

教え子を再び戦場に送るな！ 2013年10月28日発行NO. 514

2014年度 豊中市一公募校長が5名に？ 公募校長特別選考の見直しをすべき！

学校長の選考は子どもと教育の立場で ——学校教育での校長の役割を踏まえて



**全国では消極論続出
——公募校長**

全国的には公募や推薦などによる民間人校長は125人（11年度）ときわめて少数です。

豊中市は来年度、小学校2名、中学校1名の校長の募集を行い、10月20日に2次の選考がおこなわれていきます。現在小・中各1名の公募校長がおり、来年度は59小中学校中、5名が公募校長となる予定です。1割近い公募校長は全国でも突出しています。

大阪市では公募した校長の不祥事などの問題が明らかになってきています。保護者はじめ学校関係者、市民のあいだで不安が広がっています。

読売新聞の調査によれば、11年度には過去最多の44教委が登用していましたが、現在（13年度）は26教委に減少。全国67都道府県・政令市教育委員会のうち、半数以上の37教委が消極姿勢です。今後も登用を考えているのは21教委にとどまっています。岐阜県教委は「（民間人は）教員への指導の面で課題が多い」と理由を挙げています。

学校教育での校長の重要な役割について

校長は子どもの成長・発達を保障するため、教育の自由・自主性を尊重し、①教育の専門家として学校教育に携わり、「教師のなかの教師」として、教職員への適切な指導・助言を行う

②子どもの教育を受ける権利を保障するため、必要な教育条件整備を行う

③学校の代表として保護者や地域との協力・連携を行う

など、今日の学校教育で重要な役割を担っています。



したがって、校長には、子どもと教育についての深い識見、教育課程や授業展開などについての教育的な専門性が必要です。これまで、教員が長年、教職としての経験を積み、教頭などを経て校長に任用されてきたのは、校長職がこうした性格をもつからです。学校経営と管理はこうした教育的な専門性を土台にしてこそ成り立つものです。

校長資格要件の基本は教員免許と教職経験に

学校教育で重要な役割をもつ校長の資格要件は、学校教育法施行規則第20条で、

①教員免許状を有し、かつ、学校など「教育に関する職」に5年以上あつたこと

H26年度豊能地区特別選考応募状況より

3 応募状況

(1) 年齢・男女別 (平成26年(2014年)3月31日現在年齢)

	豊中・小学校		豊中・中学校		箕面・中学校		応募者数
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
30代	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
40代	4人	0人	2人	0人	0人	0人	6人
50代	11人	2人	7人	0人	7人	0人	27人
60代	4人	1人	2人	0人	1人	0人	8人
合計	20人	3人	11人	0人	8人	0人	42人
備考	最年少38歳		最年少41歳		最年少53歳		最年少38歳
	最年長62歳		最年長62歳		最年長61歳		最年長62歳
	平均54.0歳		平均52.7歳		平均55.9歳		平均54.0歳

(2) 資格区分別 (資格区分の詳細については資料末尾参照)

	豊中・小学校	豊中・中学校	箕面・中学校	応募者数
ア 民間企業等 管理職等経験者	20人	11人	7人	38人
イ 3市2町公立小中学校 校長教頭経験者	3人	0人	0人	3人
ウ 3市2町公立小中学校 現役教職員	0人	0人	0人	0人
エ 3市2町職員	0人	0人	1人	1人
合計	23人	11人	8人	42人

② 「教育に関する職」に10年以上あったことと定められています。
ところが、2000年に自民党政権が同規則「改正」で、校長については、教員免許状をもつておらず、「教育に関する職」に就いたことがない人も任命・採用できるという「特例」(第22条)をつくりました。

民間企業の手法
ー組織マネジメント

大阪府の校長公募制は、2年前の9月に「維新」が提案した教育基本条例に示され、公募校長の能力として強調されたのは、学校をマネジメント(経営・管理)することです。同条例案では校長の任用にあたって「マネジメント能力の高さを基準」とすることを明記し、こうした考え方の基本は、府立学校条例に引き継がれています。校長選考において、組織マネジメント能力を極端に重視しています。しかし、子どもと教育についての深い識見、教育課程や授業展開などについての教育的な専門性・教育についての専門的な力量

を軽く扱っていいのかが問われています。

人事権移譲の豊中も
ーマネジメント力

2014年度の豊能地区の校長公募の要項には「求める人物像」として次の点をあげています。

- (1) 学校の教職員の意欲を引き出し、リーダーシップを発揮できる人
- (2) 柔軟な発想、企画力を有する人
- (3) 社会の動向に対する洞察力と先見性を有する人
- (4) 組織マネジメントによる学校組織の活性化を推進できる人
- (5) 地域の方々と連携して開かれた学校づくりを推進できる実行力を有する人
- (6) 特に、採用予定の市町が求める人物像に合致する人(後掲)

※幼児期から中学校卒業まで一貫性のある教育推進に理解と関心を有するとともに、地域の教育力の向上及び配置校の教育課題に対応した教育を展開するための学校経営ビジョンを有する人

大阪府や大阪市の公募校長選考にある「求める人物像」とほぼ同様です。

全国で見直しがすすみ、大阪市で相次ぐ不祥事・問題が起こっている校長公募ですが、豊中市は例外と言えるでしょうか？

今、学校教育での校長の役割は、これまで以上に重要になっています。全教豊中教組は求めます。
(1) 校長公募制は、学校関係者の意見を聞き、抜本的に見直すこと。
(2) 校長選考は、憲法と教育の条理、教育関係法令を踏まえて行うこと。

学校の教育目標が「子ども達に、社会を生き抜く力(処世術)を身につけさせる」・「何か違う、と感じた4月でした。」

さらに、「他の校区から人が集まってくるように、もっと学校を宣伝する」「フランス料理のシエフを呼び、家庭科の授業を」「目標は数値化して」卒業式の式辞は「格安航空会社ピーチは斬新なアイデアですばらしい」等、「企業の論理」満載の一年間でした。

公立学校の仕事は、宣伝をして人を集めることではありません。それぞれの校区に住むすべての子どもたちに責任を持ち、

「何か違う！ 民間校長の一年間」

藤木教文部長(昨年度まで民間人校長の学校勤務)



できうる最高の教育をすることが、公務員としての私たちの仕事です。奇をてらった授業ではなく、日々の地味な活動の積み重ねが教育の大切な仕事です。学校は「学園ドラマ」ではありません。そんなイメージをもって校長になられると、迷惑するのは子ども達がいる学校現場です。